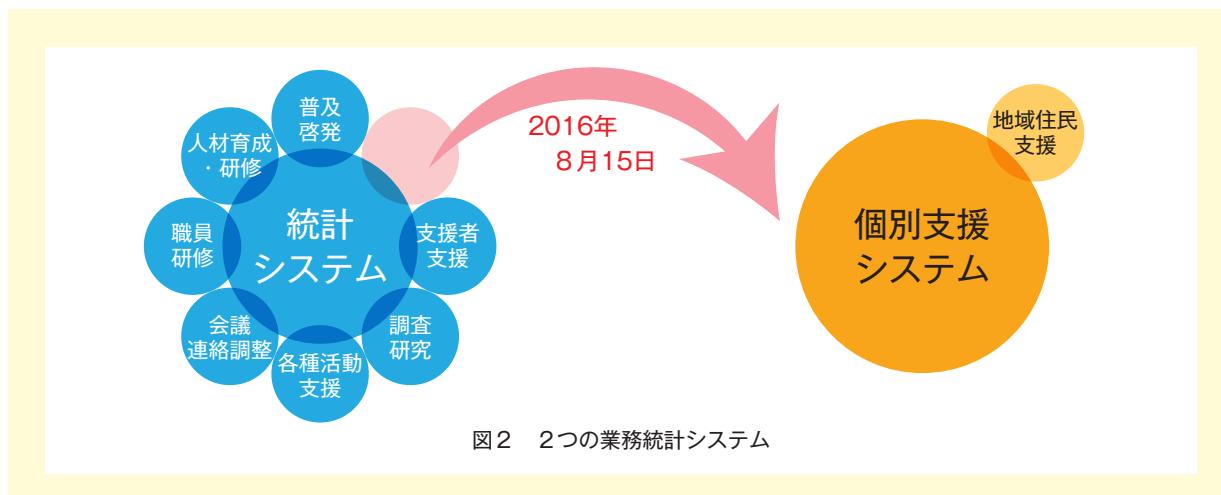


(3) 業務統計システムの概要

活動当初から、市町の依頼による地域住民支援件数は年間延べ6,000件を超えていた。1活動1件の集計を開始した2012年度は延べ6,437件、2013年度は延べ6,236件、2014年度は延べ7,135件であった。その後、被災地の状況をより正確に知るためにには、支援対象者の実人数の把握が不可欠であると2014年に宮城県から提言があり、2015年度から個別支援記録のID化をすすめ、実人数を業務統計に反映させた。2016年8月15日より、実人数を把握するための個別支援システムを独立させた。現在の業務統計システムは二つのシステムを採用し運用している（図2）。



3. 他県との連携

当センターは東日本大震災の発災により設立され、同時期に福島県、岩手県でも心のケアセンターが設立されている。兵庫県、新潟県に引き続き全国で3番目に設立された。

当センターの開設が検討され始めて間もない2011年7月には、心のケア対策会議の出席者数名が兵庫、新潟へ視察を行った。当時は震災後の混乱が続いているほか、心のケアセンターという組織がどのような役割を担うべきか、明確にイメージができていない状況であった。視察先センターの方々は、そのようなこちらの気持ちを察して、ねぎらいの言葉とともに、当面私たちが目指すべき方向と今後起こり得るいくつかの問題をご指摘くださった。職員の方々の経験に基づくアドバイスは非常に有益であり、震災から復興を遂げた地域の景色を見られたことも希望となった。

その後、3県のセンターが開所されると、3センターの職員が顔を合わせる機会が増えるようになった。開所当時は統計システムの設計や組織運営、センターの支援方法と役割など、多くの課題を抱え、設立間もない組織は混乱期であった。そのようなことから3県による職員の相互交流と情報共有を行うことを提案し、ミーティングを年に数回設けることにした。定期的に開催される「3県ミーティング」では講演のほかにグループワークの時間を毎回設け、職員同士の交流を深める機会とした。開催地は仙台市内か福島市内が多く、終了後に懇親会を開催することもあった。その後、このミーティングは厚生労働省主催の3県連携強化会議に役割を引き継ぐかたちで終了したが、その後も実務に関するさまざまなことで連絡を取り合える関係が形成された。

2016年に発生した熊本地震では、宮城県からもDPATチームが派遣されることになり、当センターからも職員が派遣された。発災から数週間しか経っていないなかで、すでに現地では心のケアセンター設立の話題も出ていた。当センターの設立当時の経緯や課題、現状などについて情報提供した。その後具体的に設立に向けた準備が進められると、熊本こころのケアセンターから職員の方々が視察に訪れ、当センターが企画した支援者支援にも参加して頂いた。当センターでも熊本こころのケアセンターの企画に講師派遣を行ったほか、研修にも参加するなど、相互の交流は続いている。

これまで日本に設立された心のケアセンターのうち、すでに新潟県は活動を終了しているが、その後も職員の方々とは連絡を取り合う関係が続いている。災害後に心のケアセンターが設立される場合、その地域に

馴染のない組織であるため、センター職員も周りの関係者もさまざまな面で戸惑うことが多かった。心のケアセンター同士のネットワークが形成され、経験とノウハウが相互に共有された。

4. 人材育成

(1) 震災心のケア交流会みやぎ（表5）

「震災心のケア交流会みやぎ（以下、交流会）」は、2011年に仙台市内で「一般社団法人震災こころのケアネットワークみやぎ」の主催で開催し、第2回から当センターとの共催となった。発災直後から働き詰めの自治体職員および支援者にリラックスする機会を提供することと各被災自治体での取り組みなどの情報共有などを目的にした。第4回は石巻市で開催し、その後南三陸町や気仙沼市などで開催するなど地域の課題に沿った取り組みとなった。

2017年度から、今後の地域精神保健福祉の在りようを考える「みやぎ心のケアフォーラム」が開催されることとなり、交流会はフォーラムへ統合となった。

また、石巻地域センターでは、第13回から石巻圏域の支援団体で組織した実行委員会で交流会を企画・運営し、石巻圏域の支援者の交流を主眼に2017年度も開催した。

表5 震災心のケア交流会みやぎ実施一覧

回	実施／会場	テーマ・内容	参加者数
1	2011年7月2日 (ハーネル仙台)	(1) プレ交流会（名刺交換会） (2) 報告会 沓沢 はつ子氏（石巻市） 工藤 初恵氏（南三陸町） 田口 ひろみ氏（山元町 工房地球村） 宮城 秀晃氏（石巻市 宮城クリニック） (3) 情報交換会（懇親会）	
2	2011年11月12日 (ハーネル仙台)	交流会テーマ これからのみやぎの中長期支援を考える (1) 報告会（石巻市、南三陸町、山元町） (2) シンポジウム ・新潟こころのケアセンターからの経験 ・みやぎ心のケアセンターの構想と準備状況 ・パネルディスカッション	
3	2012年11月10日 (艮陵会館)	交流会テーマ 震災から1年8ヶ月～被災地の現状と課題～ (1) 講演 震災から1年8ヶ月～被災地の現状と課題～ 講師 福地 成（みやぎ心のケアセンター） (2) 活動報告 ・ジャパンプラットフォーム ～からころステーション ・JOCA ～Tree Seed	60
4	2013年3月1日 石巻グランドホテル	交流会テーマ 被災者支援の今とこれからを語ろう (1) 分科会（高齢者支援、子ども支援、障がい者支援） (2) 講演 被災者支援のこれから～新潟県における実践を通して～ 講師 本間 寛子氏（新潟こころのケアセンター） (3) 交流会	83
5	2013年7月12日 気仙沼プラザホテル	交流会テーマ 震災後の活動を振り返る～より良い関係づくりをめざして～ (1) 基調講演 震災後の活動を振り返る 講師 連記 成史 （みやぎ心のケアセンター・気仙沼地域センター長・三峰病院長） (2) 講義 震災後のメンタルヘルス 講師 小原 聰子氏（宮城県精神保健福祉センター技術次長） (3) 分科会	80
6	2013年11月27日 石巻グランドホテル	交流会テーマ つなごう未来へ、つくろう未来を (1) シンポジウム 被災者支援のこれから 高橋 幸男氏（エスポアール出雲クリニック院長） 森川 すいめい氏（陽和病院地域支援室） 今野 和則氏（石巻支援学校長） (2) 交流会	82